



MS343-30008/9 リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はクラウン アスリート、ロイヤル、マジェスタ用TRDリヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。本書は上記TRDリヤバンパースポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合一覧表

品番	塗装色	備考
MS343-30008-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン(062)	GRS21# / ARS210/AWS21# '13.1~
MS343-30008-C0	ブラック(202)	
MS343-30008-C1	プレシャスブラックパール(219)	
MS343-30009-NP	未塗装品(プライマー処理品)	

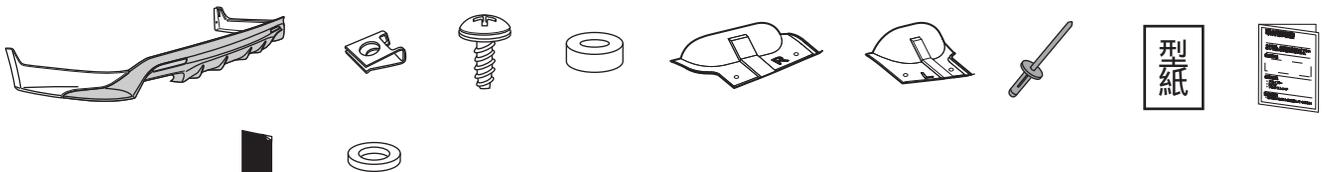
- *1 クラウンアスリート3.5Lと2.0Lターボ車には別売りのマフラーガーニッシュが必要です。
- *2 バックフォグランプ装着車には取付け出来ません。
- *3 アドバンストパッケージ装着車に取付けの際は車両修理書に従い、インテリジェンスクリアランスソナーの簡易検査を実施してください。

構成部品一覧表

品名	品番	個数	備考
リヤバンパースポイラー		1	
Jナット		4	
タッピングスクリュー		4	5×16
樹脂ワッシャー		2	
エクステンションRH		1	本書内4ページ適合一覧参照
エクステンションLH		1	本書内4ページ適合一覧参照
リベット		4	黒色
型紙		1	
取付・取扱要領書		1	本書
ブラックアウトフィルム		1	
ゴムワッシャー		2	t = 2mm

以下、MS343-30009-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	品番	個数	備考
モール		(各1)	黒/グレー L=3100mm
PACプライマー		1	K-500



以下、MS343-30009-NP(未塗装品セット)のみに同梱



トヨタ テクノクラフト株式会社

〒222-0002 横浜市港北区磯子町800番地 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所での作業や、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、各タッピングスクリューが緩む恐れがあるので、数キロ走行後には必ず増締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット（MS343-30009-NP）は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。塗装後の乾燥時、乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両へのリヤバンパースポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

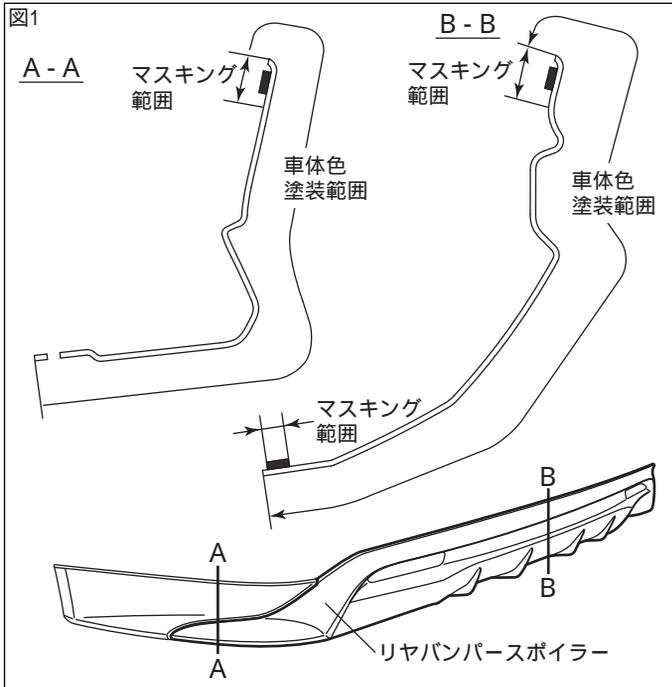
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS343-30009)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



リアバンパースポイラーの塗装

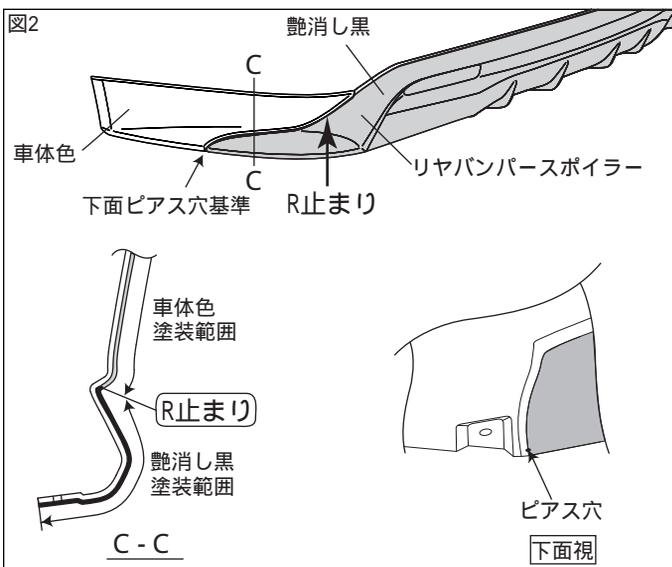
1. 図1のようにリアバンパースポイラーを塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下IPAという)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付け面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。クッション部もマスキングテープ等を貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

2. 図2のように車体色部分をマスキングし、艶消し黒で塗装する。

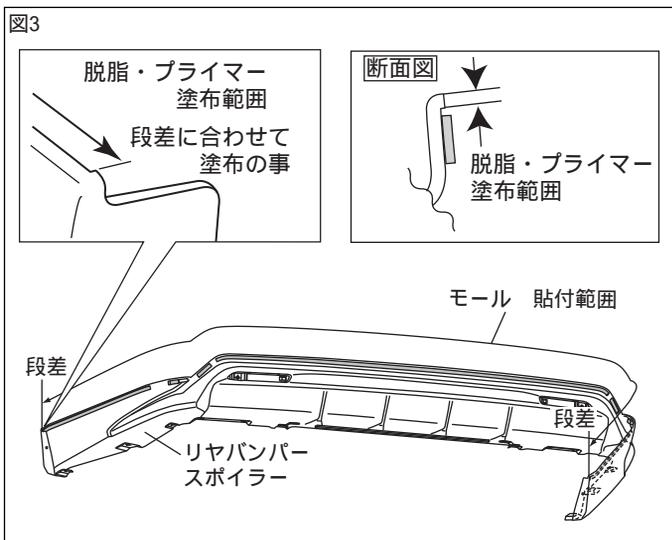


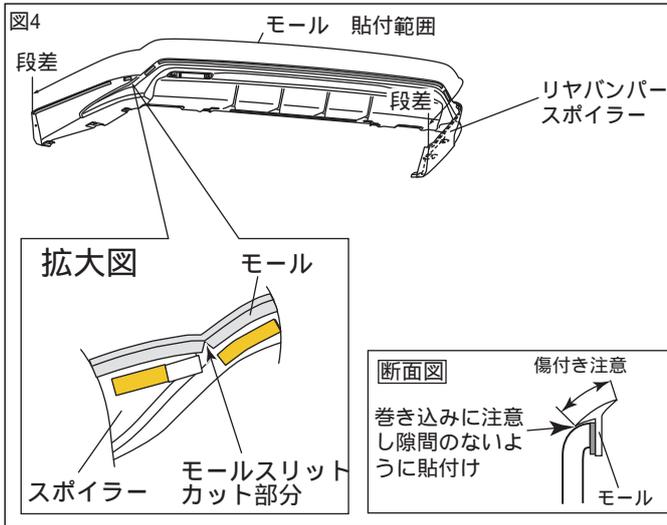
モールの貼付け

1. 図3のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂し、モール貼り付け部のみPACプライマーK-500を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りに、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。





2. 図4のようにリアバンパースポイラーに、モールドの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。{49N(5kgf)以上}
モールドは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モールドは、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モールド色を選択し貼付けてください。

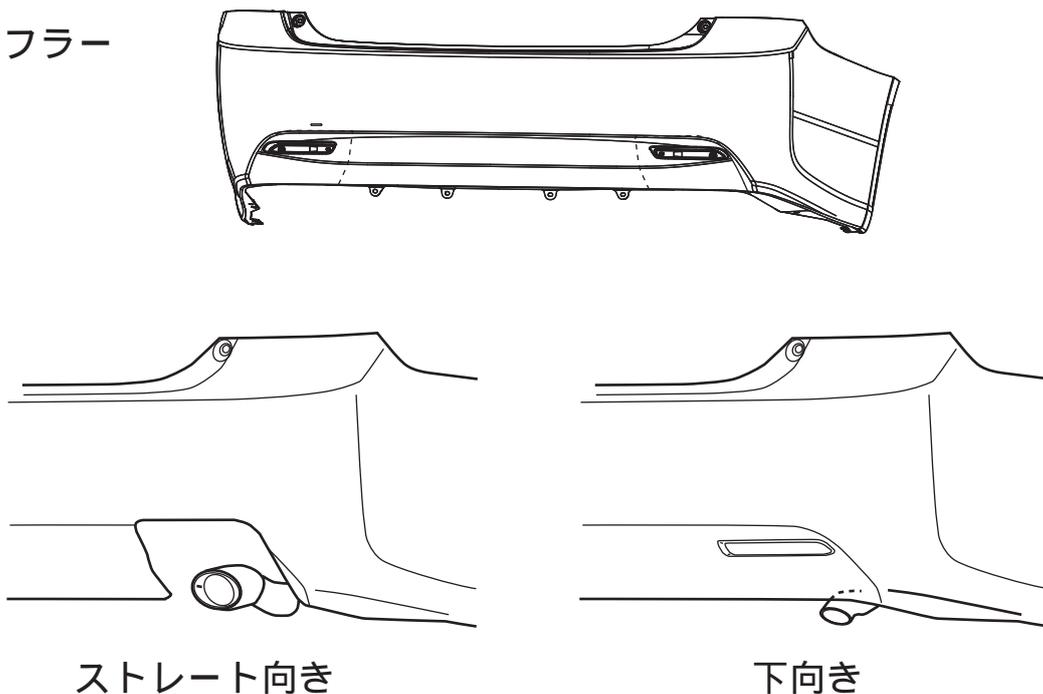
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40程度に暖めて下さい。

リアバンパースポイラーをバンパーに装着する前に適合車種の詳細を下記の表を参考に確認してください。車種により加工が必要になります。

作業前適合車種確認表

車種名	排気量	マフラー向きの確認	スポイラーの加工の有無
アスリート	3.5L	マフラーストレート向き	加工有り。別売りのマフラーガーニッシュ(MS313-30001)が必要
アスリート	2.0L(ターボ)	マフラーストレート向き	
アスリート	2.5L(4WD)	マフラー下向き	加工無し。概ね2013年3月以前の生産車は同梱のエクステンションが必要
アスリート	HVシリーズ	マフラー下向き	
ロイヤルシリーズ	共通	マフラー下向き	
マジェスタシリーズ	共通	マフラー下向き	

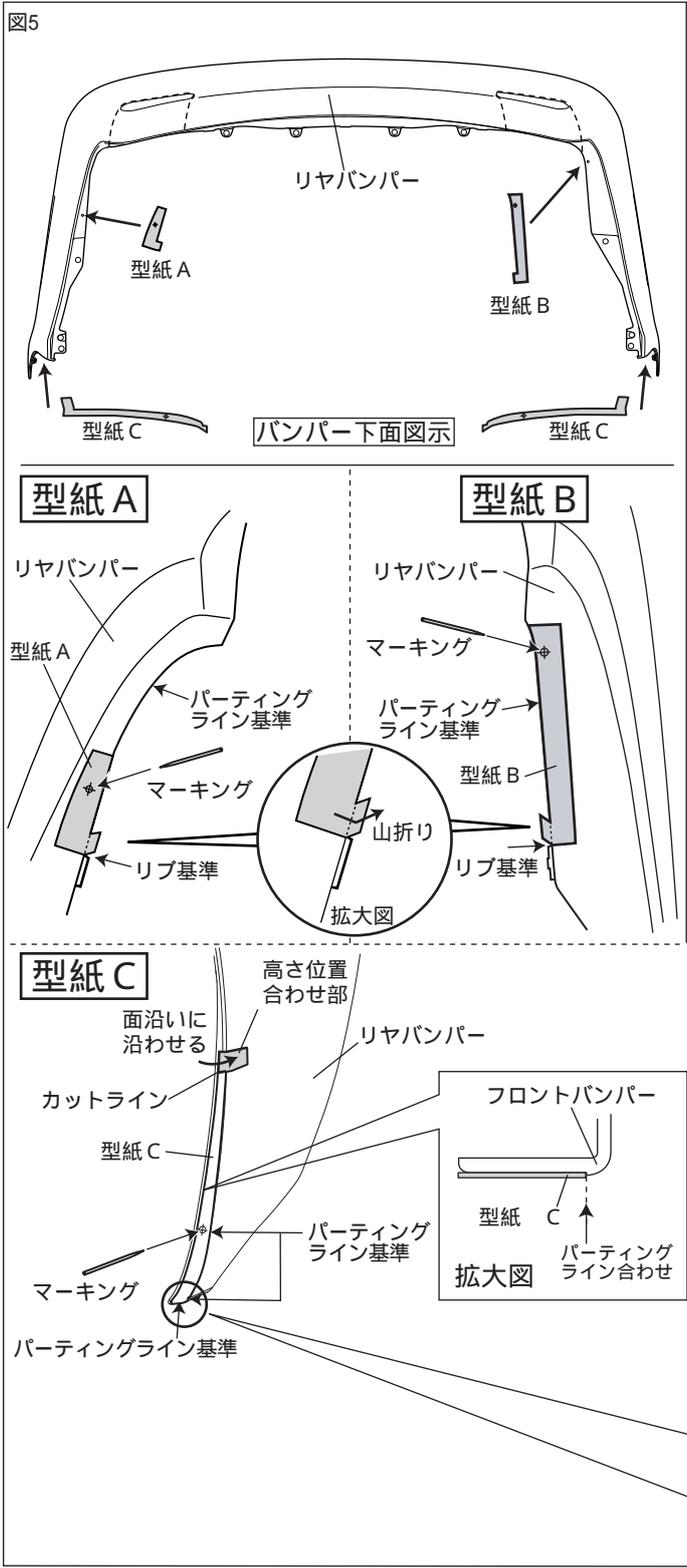
リアマフラー
参考図



取付作業を開始する前に P . 4 の適合車種確認表を確認して下さい。

アスリート 3 . 5 L ・ 2 . 0 L ターボの取付けは 1 3 ページから作業して下さい。

アスリート 4 WD ・ H V シリーズ ・ ロイヤルシリーズ ・ マジェスタシリーズの取付けはこの 5 ページから作業して下さい。



取付準備

本取付・取扱要領書は、主に LH を示しており、RH も同様に行ってください。

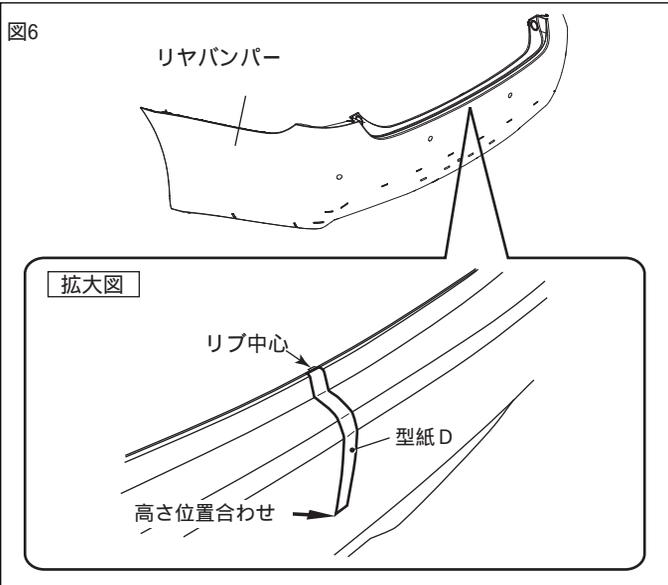
1. 車両修理書に従い、車両からリアバンパーカバー、リフレクター、純正バンパーローガーニッシュ取外す。

△注意：取外した車両リフレクター、車両スクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

△注意：取外す際に車両およびリアバンパーに傷が付かないよう保護して作業を行ってください。

2. 図 5 のように型紙 A、B をリアバンパー下面のリブに突き当てながら、パーティングラインに合わせて貼付け、穴位置をマーキングする。
(2 箇所)
3. 図 5 のように型紙 C をリアバンパーホイールアーチ部に合わせて貼付け、穴位置をマーキングする。マーキング後、型紙 C の高さ位置合わせ部を残し、他の部分は剥がす。
(2 箇所)

図6



4. 図6のように型紙 Dをリヤバンパーに貼付け、高さ位置合わせ用として使用する。
(1箇所)

断面図センター部高さ位置合わせ型紙

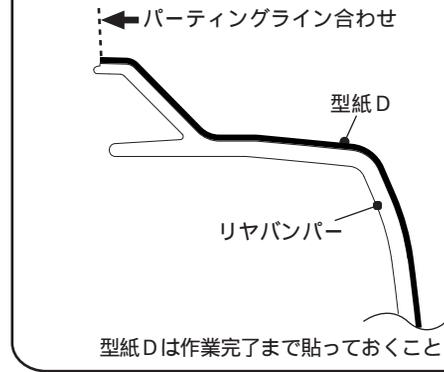
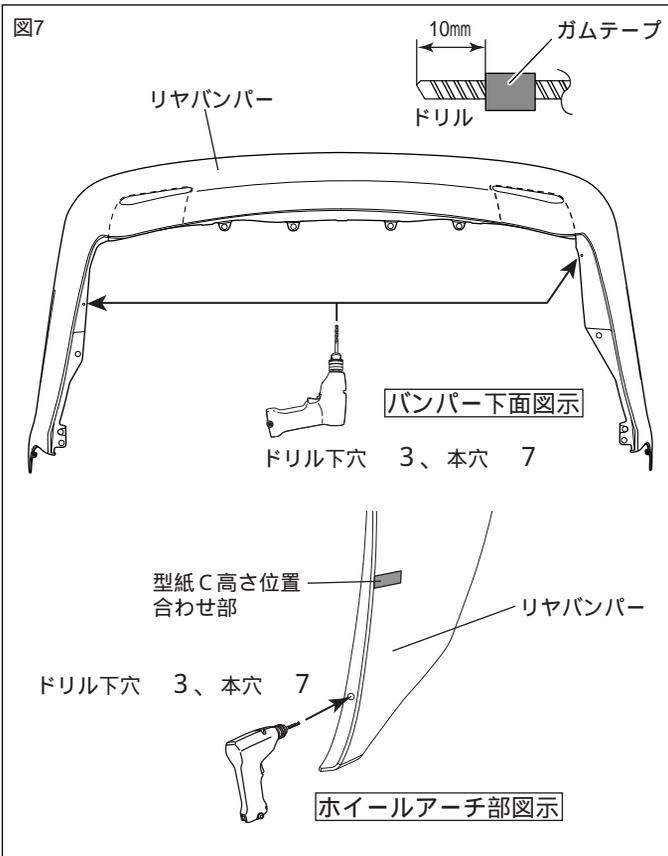


図7



△注意：型紙はリヤバンパーに密着させて貼付けてください。浮きやスキがある場合、高さ位置が下側にずれて剥がれや、浮きの原因になります。

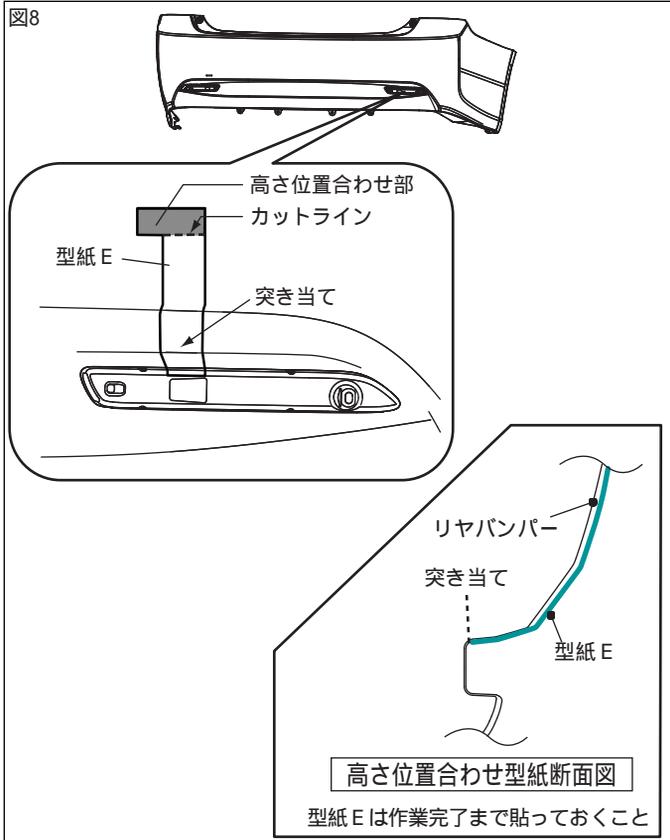
5. 図7のように使用するドリルの先端にストッパーになるようゴムテープを巻きつける。

6. 図7のように 3のドリルを使用してリヤバンパー下部とホイールアーチ部のマーキング位置に下穴をあける。
(4箇所)
下穴に 7のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(4箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時は、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

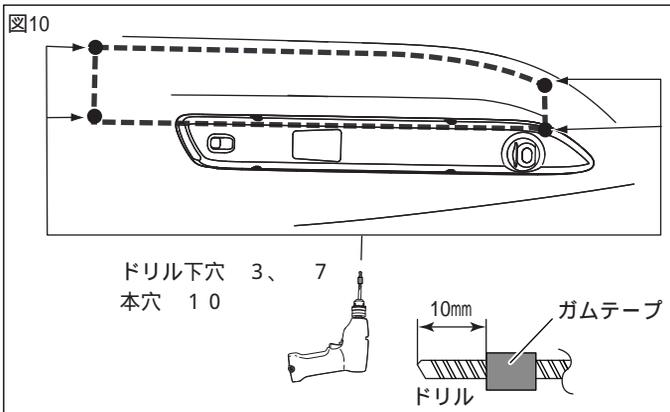
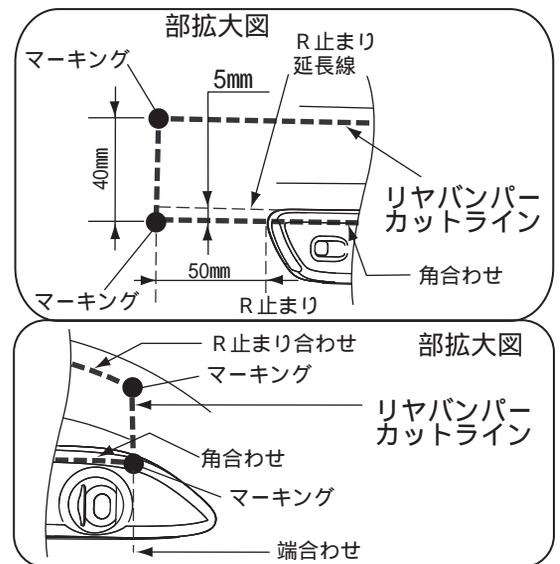
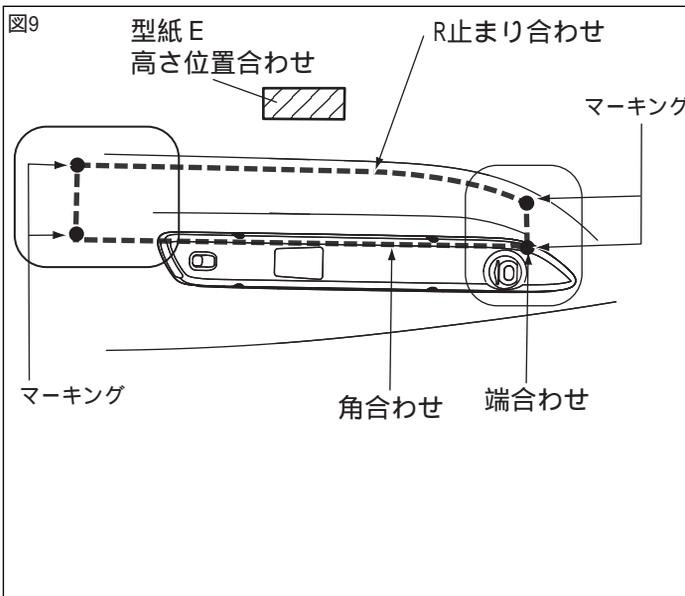


7. 図 8 のように型紙 E をリヤバンパーのリフレクター取付け部分にある四角穴の中心とバンパー形状に突き当てて貼付け、高さ位置合わせし用として使用する。
(2 箇所)

△注意：型紙はリヤバンパーに密着させて貼付けてください。浮きやスキがある場合、高さ位置が下側にずれて剥がれや、浮きの原因になります。

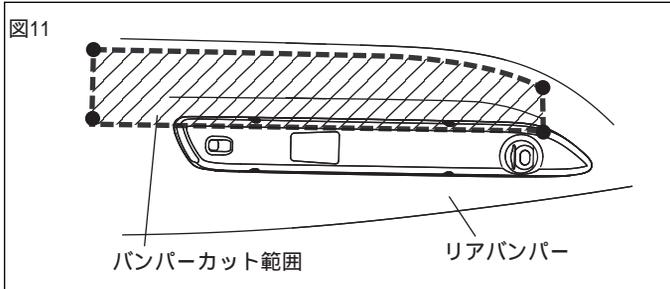
8. 図 8 の型紙 E の高さ位置合わせ部を残し他の部分を剥がす。
(2 箇所)

9. 図 9 のようにバンパーの切欠き端末と寸法でマーキングする。
(8 箇所)



10. 図 10 のように使用するのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつける。
11. 図 10 のように 3、7 のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(8 箇所)
下穴に 10 のドリルで本穴をあける。
(8 箇所)

アドバイス：穴あけ加工時は、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

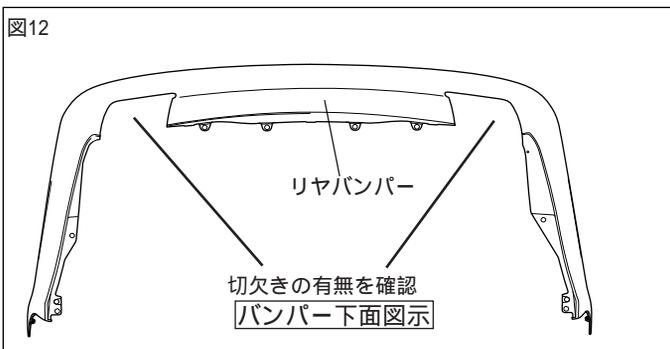


12. 図 11 のように破線を参考に、エアソー等で穴と穴をつなぐように斜線部切り抜き、加工部のバリを取り除く。
(2箇所)

⚠注意：カットする際に、怪我に注意してください。
又、リアバンパーへの傷つきに注意してください。

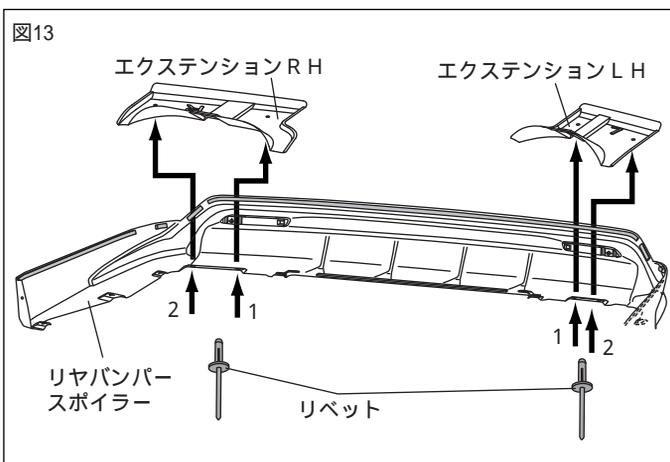
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリを取り除く時には、カットラインが歪まないように注意してヤスリ等で取り除いてください。



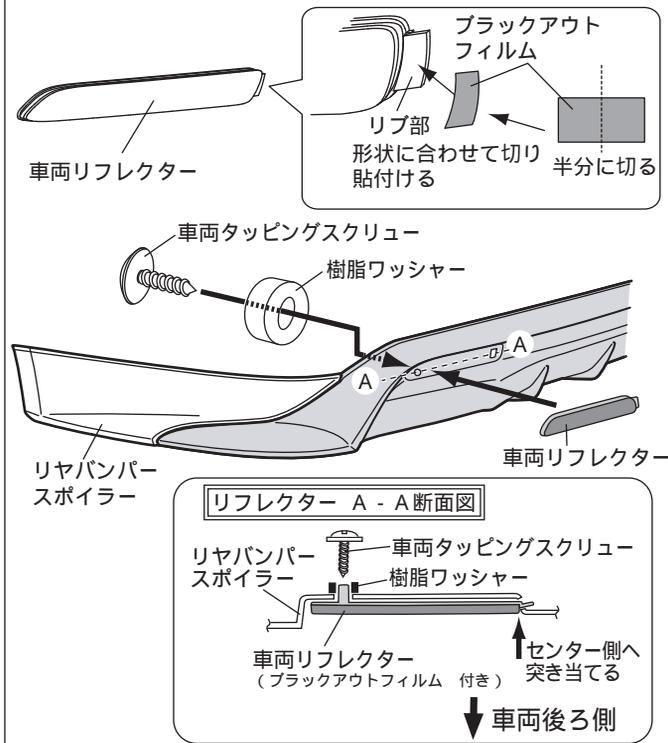
13. 図 12 のように、リアバンパーに切欠きの有無を確認をする。切欠きがある場合はリヤバンパースポイラー にエクステンション を取付け作業を行う。切欠きが無い場合は取付け作業はしない。
(2箇所)

バンパーに切欠きがある車のみ作業をしてください。



14. 図 13 のように、リアバンパー スポイラー とエクステンションRH、エクステンションLH にリベット を差し込み左図番号順に固定する。
(4箇所)

図14

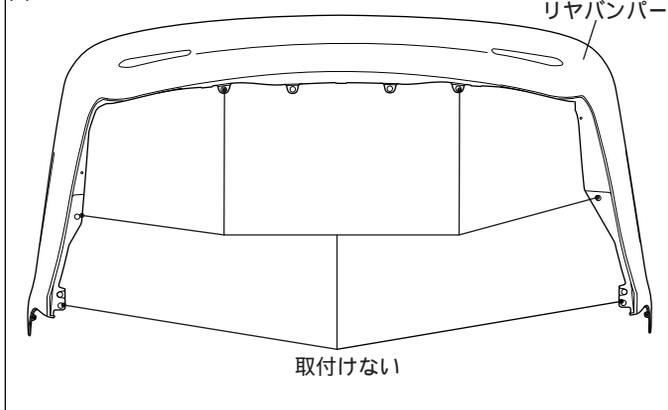


15. 図14のように、リフレクターリブ部にブラックアウトフィルムを貼付ける。
(2箇所)

16. 図14のように、リフレクターをリアバンパースポイラーに樹脂ワッシャーと車両タッピングスクリューで取付けます。
(2箇所)

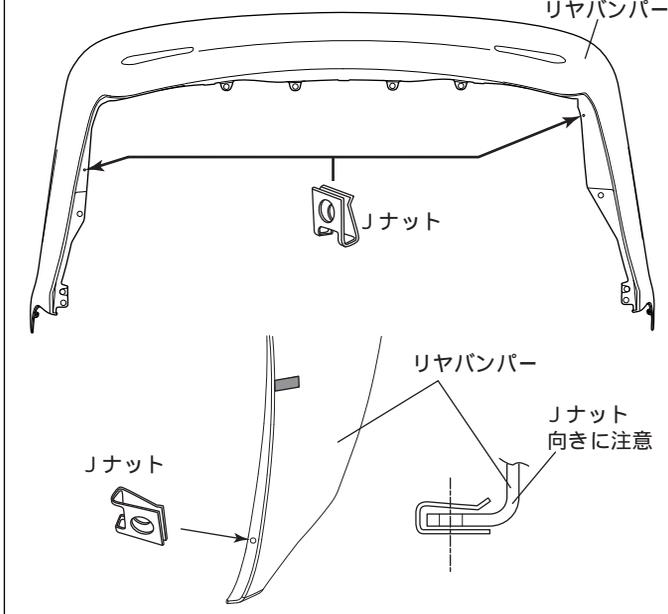
△注意：リフレクター、タッピングスクリューは車両部品を再利用してください。

図15



17. 図15のように、該当車両の修理書に従い、車両にリアバンパーを復元する。この時に図の指示の位置の車両クリップ、車両スクリューは取付けずに復元する。

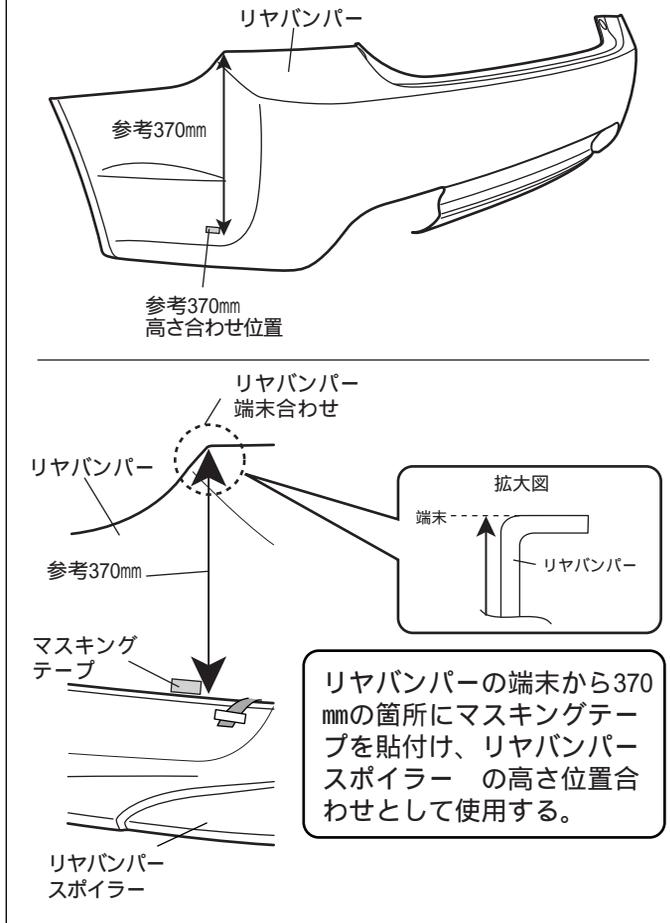
図16



18. 図16のように、下面とホイールアーチ部に開けた穴にJナットを向きに注意しながら差し込む。
(4箇所)

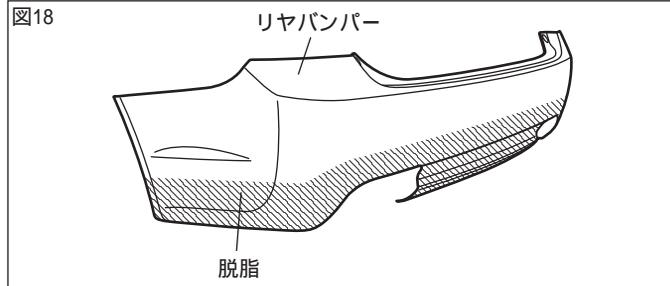
△注意：図16のようにJナットの差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリューが取付かなくなります。

図17



19. 図17のようにバンパー端末から370mmの位置にマスキングテープを貼付ける。

図18

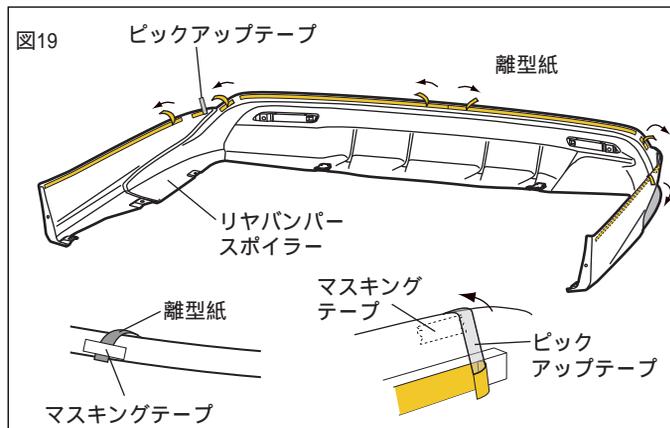


20. 図18のようにリアバンパーのリアバンパー スポイラー 取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂します。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

図19



21. 図19のようにリアバンパー スポイラー の両面テープの離型紙(6箇所)を、中央から外側に約30mm剥がし、ピックアップテープ(2箇所)をマスキングテープ等で表側に貼付けます。

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図20

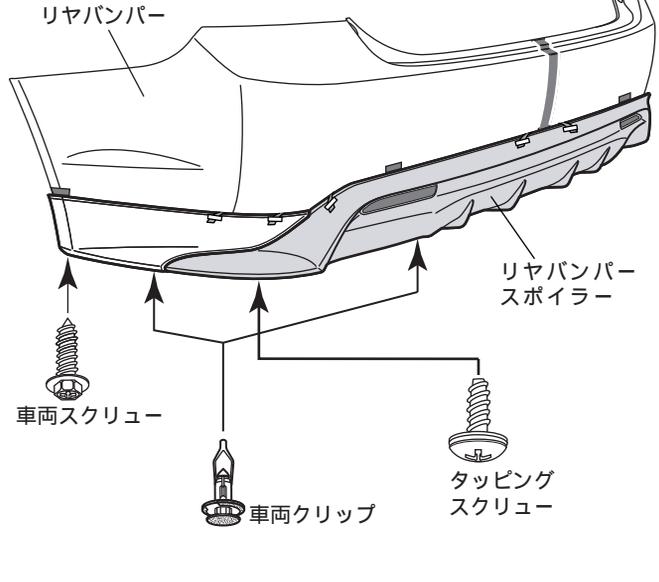


図21

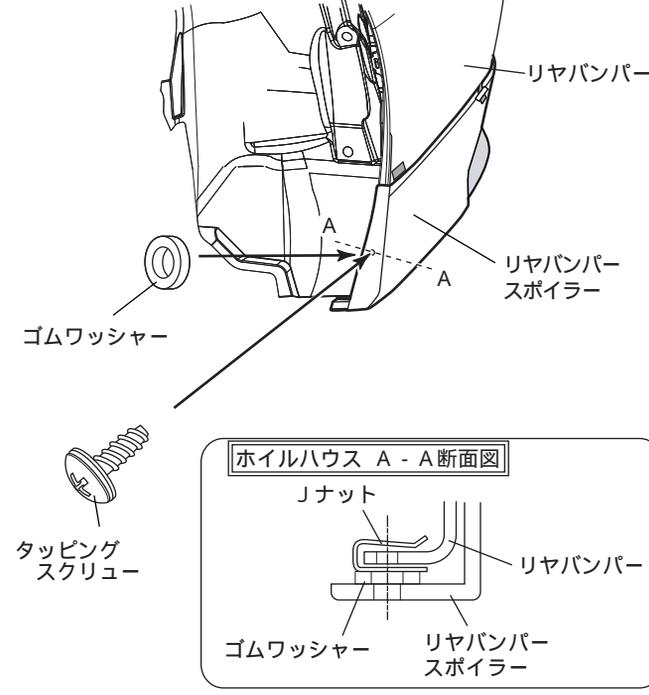
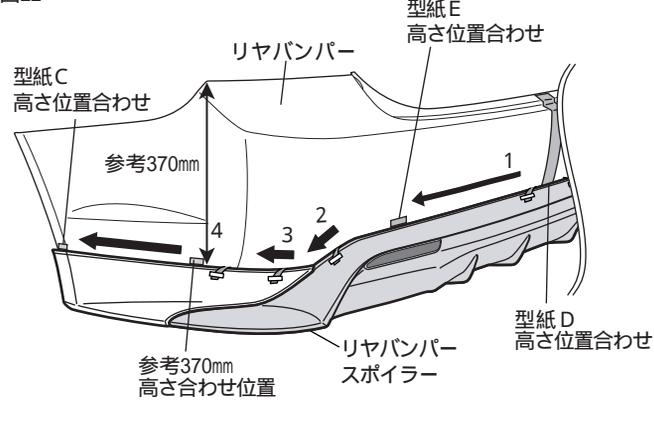


図22



取付要領

- 図20のようにリアバンパーにリアバンパー スポイラー を合わせ、下面を車両クリップ (4箇所)とタッピングスクリュー (2箇所)、車両タッピングスクリュー (2箇所)で仮締めします。
- 図21のようにホイールアーチ部にゴムワッシャー (2箇所)を挟み、タッピングスクリュー (2箇所)で仮締めします。
- 図22のようにリアバンパー スポイラー の上部モール端末を型紙D、型紙E及びマスキング位置に合わせながら、両面テープの離型紙を番号順に剥がし、貼付け圧着する。
{ 49N (5kgf) 以上 }
(8箇所)

△注意：必ずスポイラーを持ち上げ、型紙D、型紙E、図21のマスキングテープ位置に合わせながら圧着してください。隙の発生・圧着不十分・浮きは剥がれの原因となる事があります。

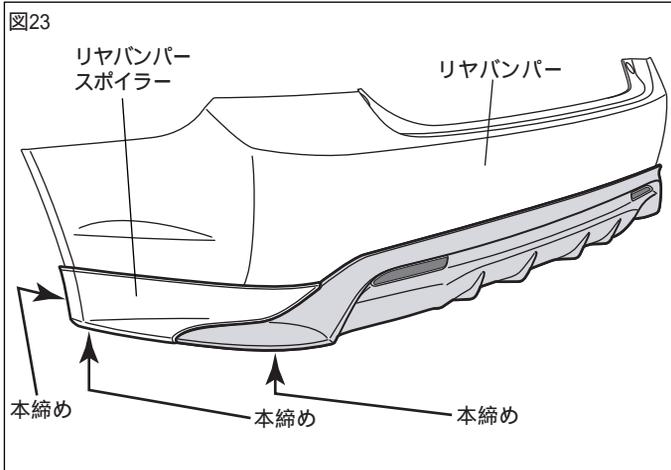
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び貼付け部をドライヤー等で40 程度に暖めてください。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



4. 図23のように仮締めしておいたリアバンパースポイラー 下面部のタッピングスクリュー (2箇所)、車両スクリュー (2箇所)を本締めする。

5. 図23のように仮締めしておいたリアバンパースポイラー ホイールアーチ部のタッピングスクリュー (2箇所)を本締めします。

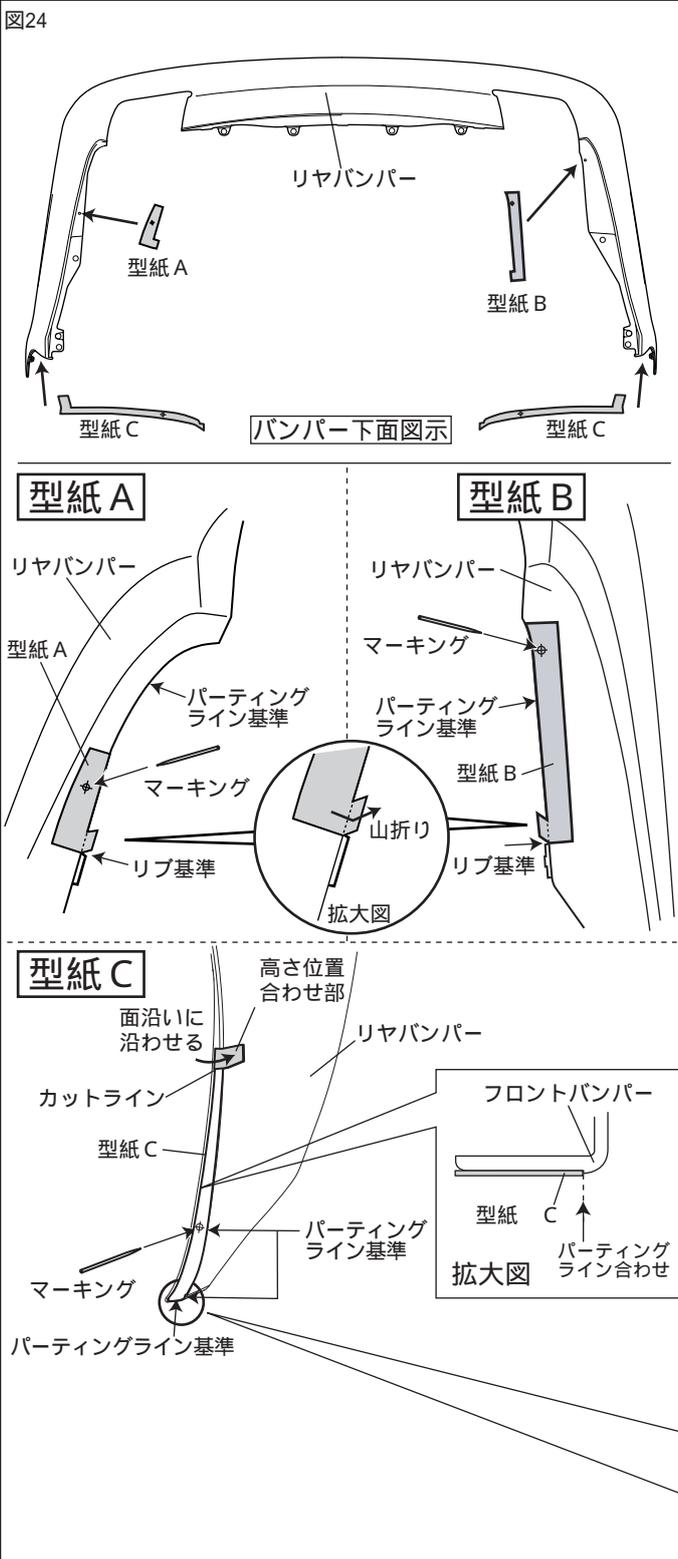
6. マスキングテープと型紙を剥がします。

取付完了後の点検・注意事項

1. リヤバンパースポイラー、及びリヤバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検します。
2. リヤバンパースポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検します。
3. 各部にスキやウキが無いこと、確実に圧着されていることを確認する。
4. アドバンストパッケージ装着車は、取付後に必ずインテリジェンスクリアランスソナーの簡易検査を実施してください。

取付作業を開始する前に P . 4 の車種適合確認表を確認してください

アスリート 3 . 5 L ・ 2 . 0 L ターボの取付けはこの 1 3 ページから作業してください



取付準備

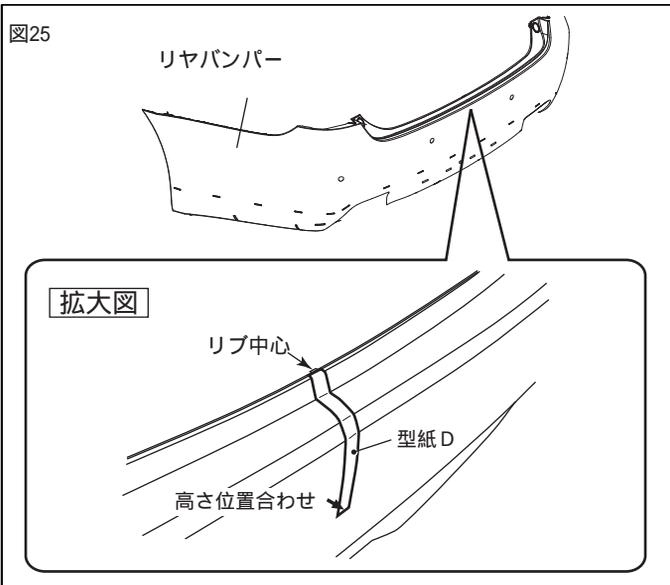
本取付・取扱要領書は、主に LH を示しており、RH も同様に行ってください。

1. 車両修理書に従い、車両からリアバンパーカバー、リフレクター、純正バンパーローガーニッシュ、左右の純正バンパースポイラーを取外す。

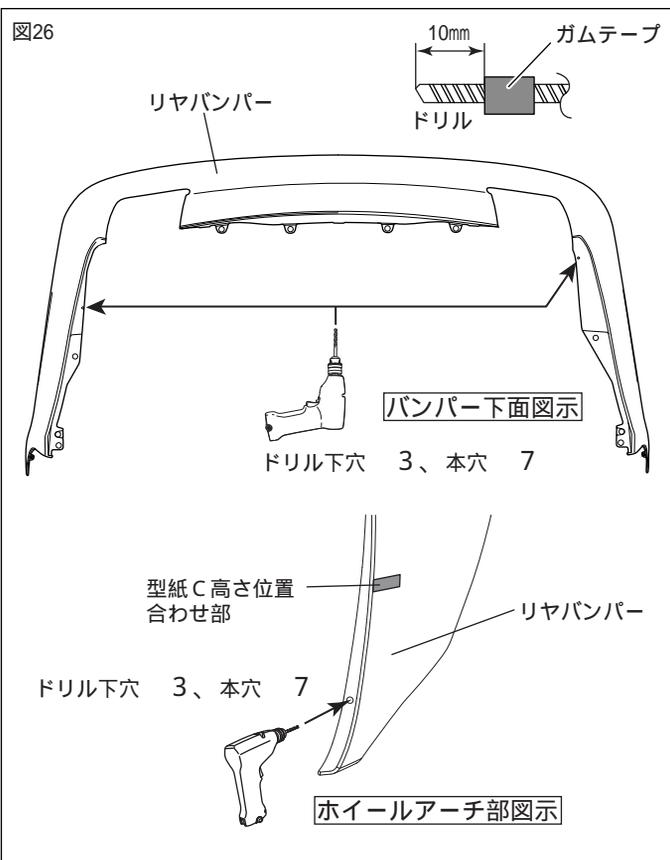
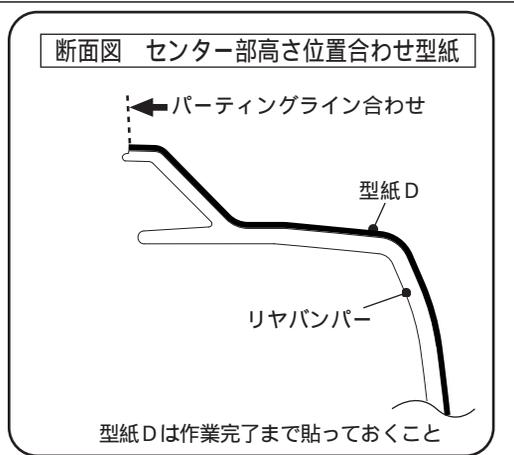
△注意：取外した車両リフレクター、車両スクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

△注意：取外す際に車両およびリアバンパーに傷が付かないよう保護して作業を行ってください。

2. 図 2 4 のように型紙 A、B をリアバンパー下面のリップに突き当てながら、パーティングラインに合わせて貼付け、穴位置をマーキングする。
(2箇所)
3. 図 2 4 のように型紙 C をリアバンパーホイールアーチ部に合わせて貼付け、穴位置をマーキングする。マーキング後、型紙 C の高さ位置合わせ部を残し、他の部分は剥がす。
(2箇所)



4. 図 2 4 のように型紙 D をリヤバンパーに貼付け、高さ位置合わせ用として使用する。



⚠ 注意：型紙はリヤバンパーに密着させて貼付けてください。浮きやスキがある場合、高さ位置が下側にずれて剥がれや、浮きの原因になります。

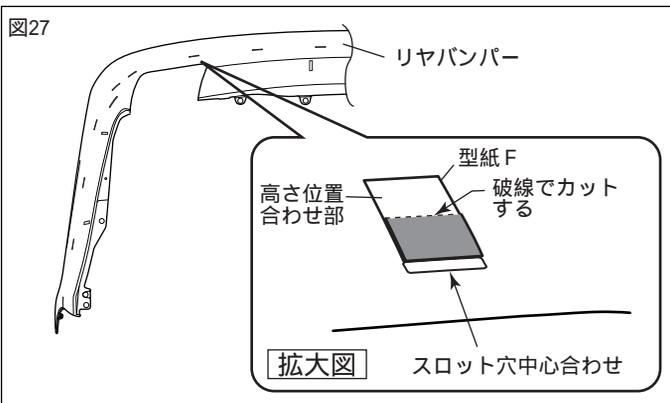
5. 図 2 6 のように使用するドリルの先端にストッパーになるようゴムテープを巻きつける。

6. 図 2 6 のように 3 のドリルを使用してリヤバンパー下部とホイールアーチ部のマーキング位置に下穴をあける。
(4 箇所)
下穴に 7 のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(4 箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時は、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

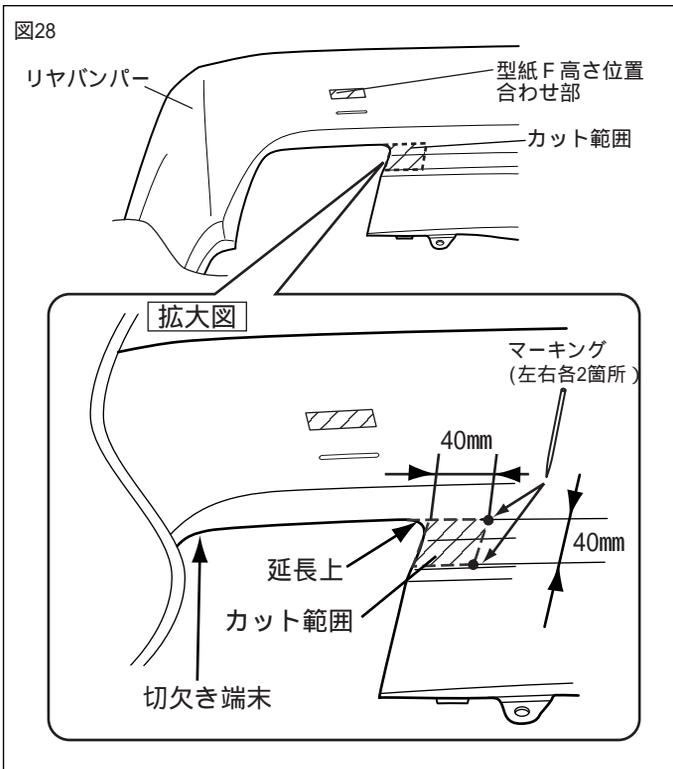
⚠ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



7. 図 2 7 のように、型紙 F を図の位置のスロット穴の中心と末端に合わせ、貼付ける。高さ位置合わせ用として使用する。
(2 箇所)

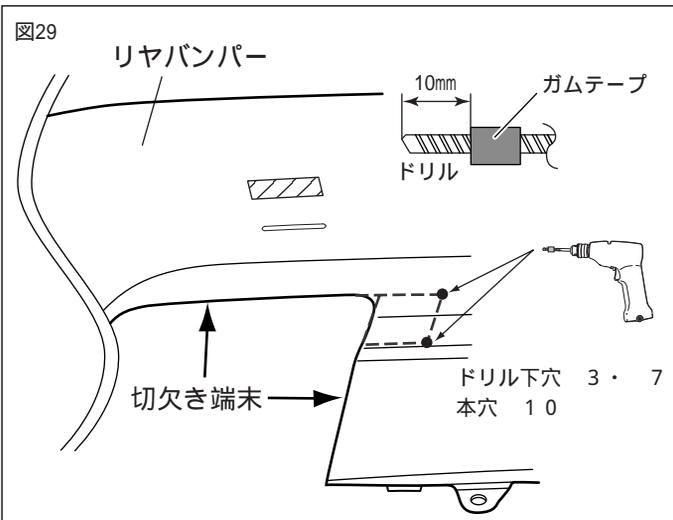
8. 図 2 7 のように型紙 F の高さ位置合わせ部を残し他の部分を剥がす。
(2 箇所)

図28



9. 図28のようにバンパーの切欠き端末と寸法でマーキングする。
(2箇所)

図29

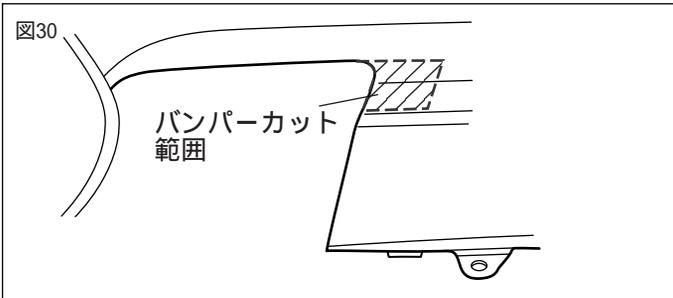


10. 図29のように使用するドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつける。

11. 図29のように 3、7のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(4箇所)
下穴に 10のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(4箇所)

アドバイス：穴あけ加工時は、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

図30



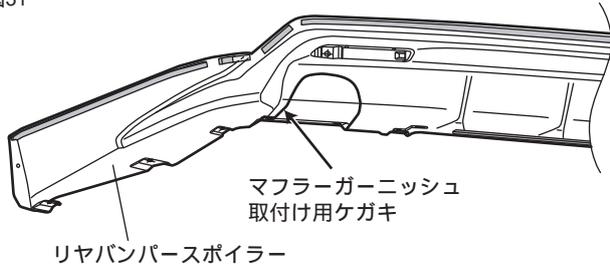
12. 図30のように破線を参考に、エアソー等で斜線部切り抜き、加工部のバリを取り除く。
(2箇所)

△注意：カットする際に、怪我に注意してください。
又、リヤバンパーへの傷つきに注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

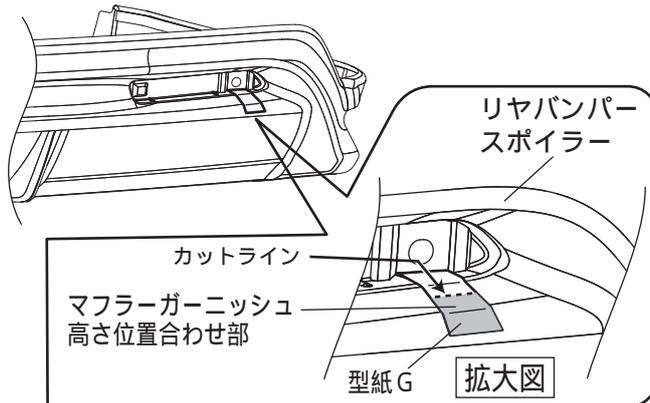
△注意：バリを取り除く時には、カッターラインが歪まないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図31



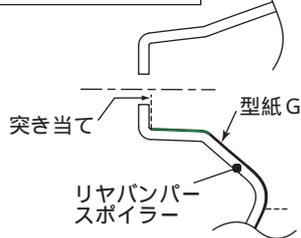
13. 図31のようにリヤバンパースポイラーの裏面にケガキがあることを確認してください。

図32



14. 図32のように型紙 Gをリヤバンパースポイラーのリフレクター取付け溝に図のように型紙を合わせ貼付ける。貼付け後カットラインで型紙Gをカットしてバンパーガーニッシュ高さ位置合わせ用として使用する。(2箇所)

マフラーガーニッシュ
高さ出し型紙断面図



型紙Gは作業終了まで貼っておくこと

15. 図33のようにリヤバンパースポイラーのケガキライン通りにカットする。(斜線部をカット) 加工部のバリを取り除く。(2箇所)

⚠注意：マフラーガーニッシュ取付け用のケガキラインを厳守のうえ加工を行ってください。ケガキラインよりズレがある場合はマフラーガーニッシュがリヤバンパースポイラーに取付かない原因となります。

⚠注意：カットする際に、怪我に注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリを取り除く時には、カットラインの歪み、はみ出しがないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

⚠注意：加工の際にはリヤバンパースポイラーの傷つき防止の為、リヤバンパースポイラーの塗装面を厚手のテープ等で保護してください。

図33

リヤバンパースポイラー

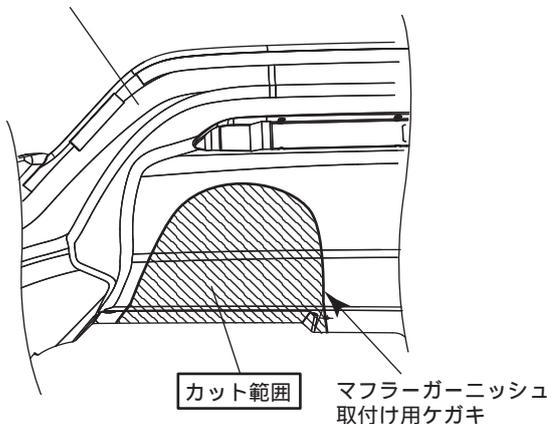
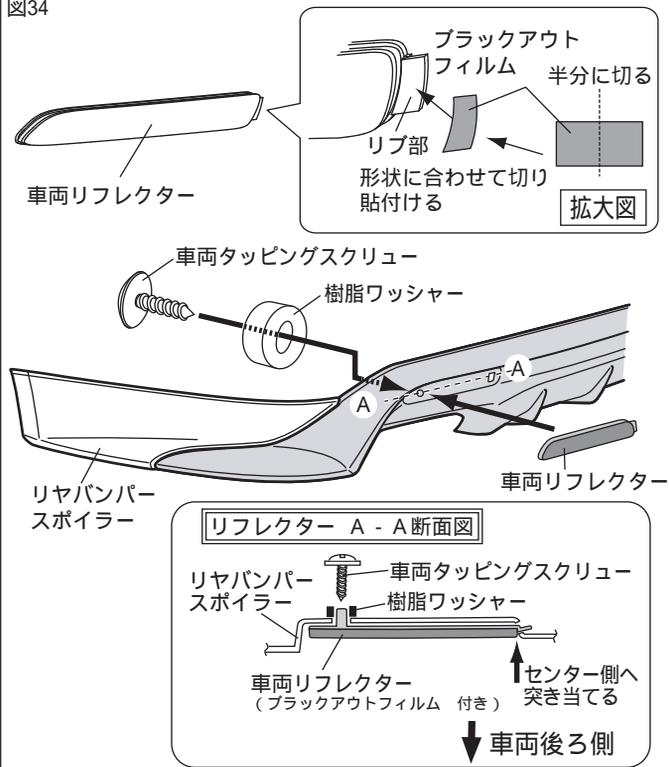


図34

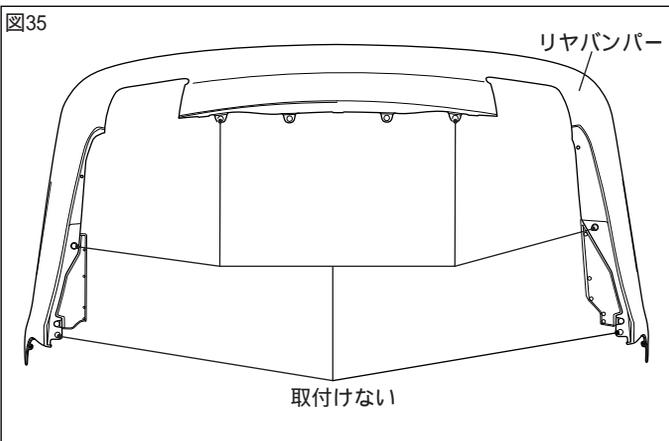


16. 図34のように、リフレクターリブ部にブラックアウトフィルムを貼付ける。(2箇所)

17. 図34のように、リフレクターをリヤバンパースポイラーに樹脂ワッシャーと車両タッピングスクリューで取付けます。(2箇所)

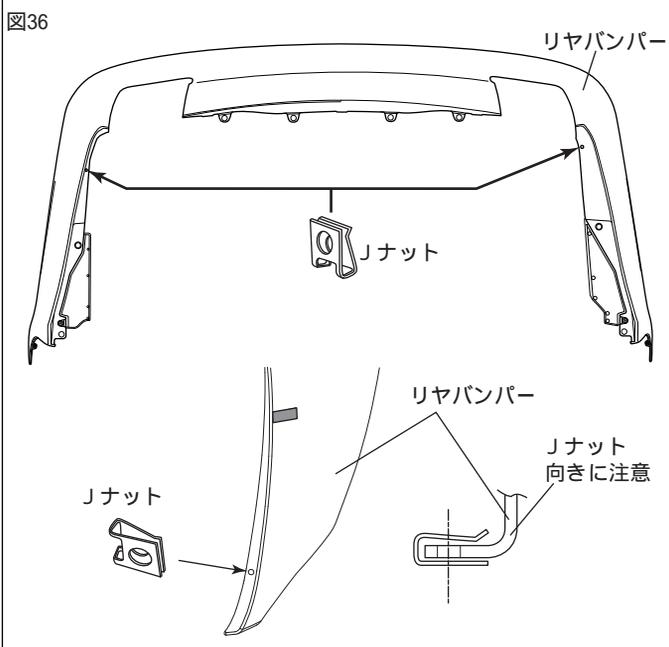
△注意：リフレクター、タッピングスクリューは車両部品を再利用してください。

図35



18. 図35のように、該当車両の修理書に従い、車両にリヤバンパーを復元する。この時に図の指示の位置の車両クリップ、車両スクリューは取付けずに復元する。

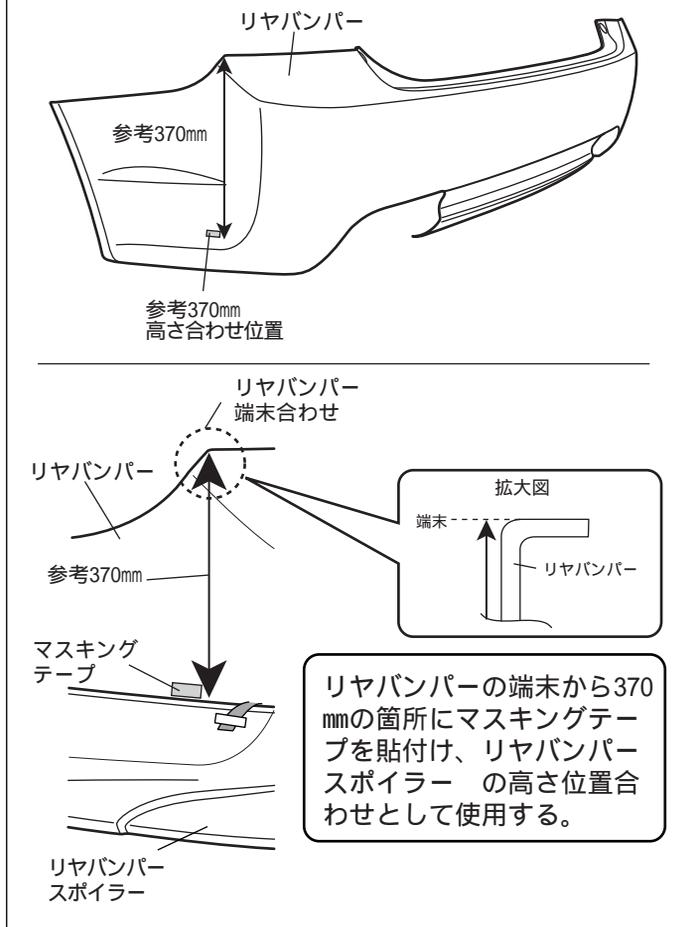
図36



19. 図36のように、下面とホイールアーチ部に開けた穴にJナットを向きに注意しながら差し込む。(4箇所)

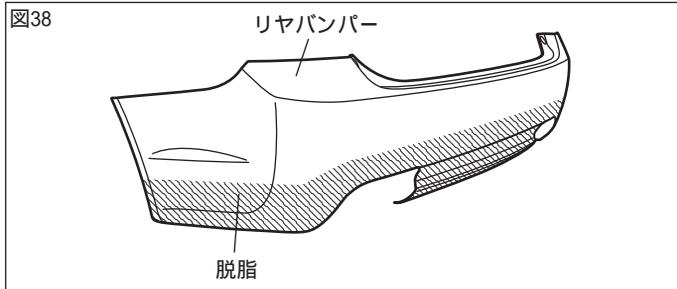
△注意：図36のようにJナットの差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリューが取付かなくなります。

図37



20. 図37のようにバンパー末端から370mmの位置にマスキングテープを貼付ける。

図38

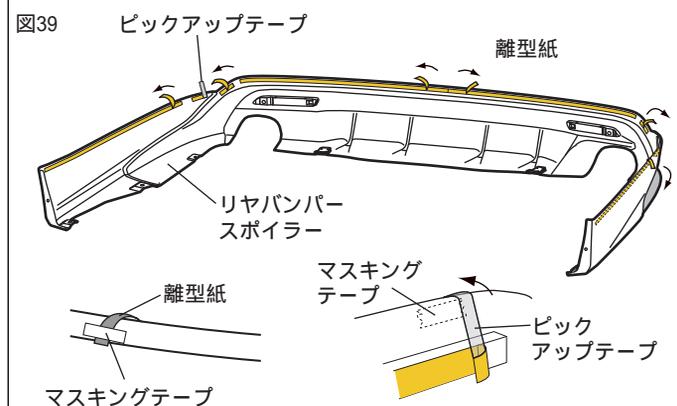


21. 図38のようにリアバンパーのリアバンパースポイラー 取付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂します。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

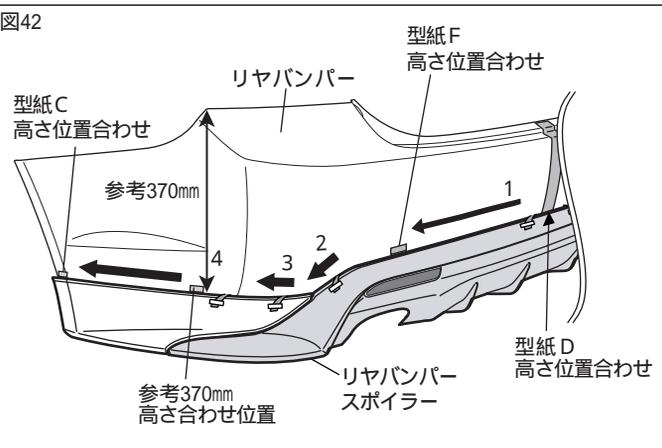
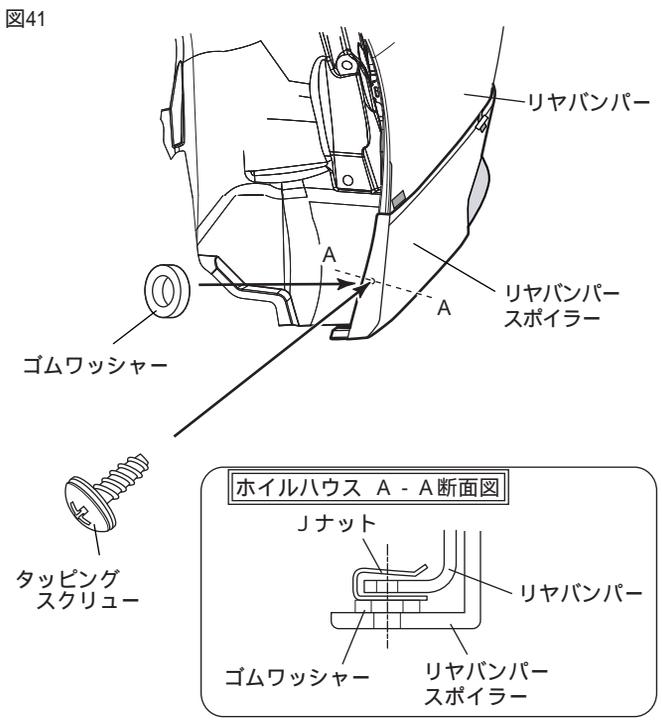
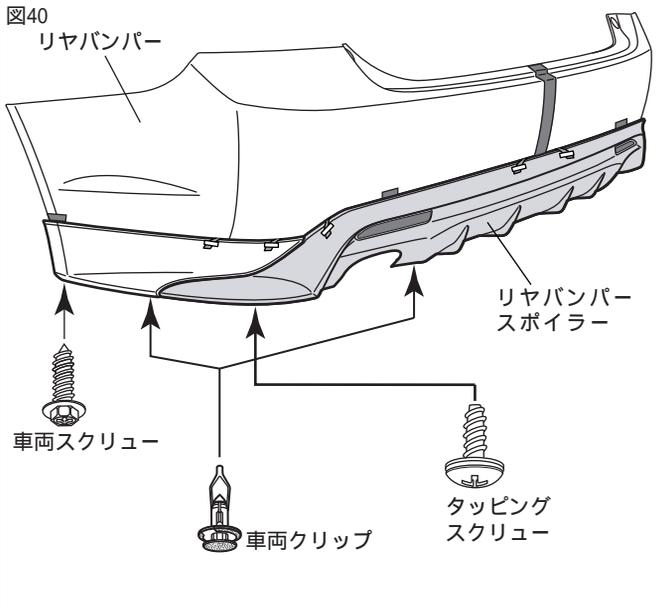
△警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

図39



22. 図39のようにリアバンパースポイラーの両面テープの離型紙(6箇所)を、中央から外側に約30mm剥がし、ピックアップテープ(2箇所)をマスキングテープ等で表側に貼付けます。

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



取付要領

- 図40のようにリアバンパーにリアバンパー スポイラー を合わせ、下面を車両クリップ (4箇所)とタッピングスクリュー (2箇所)、車両タッピングスクリュー (2箇所)で仮締めします。
- 図41のようにホイールアーチ部にゴムワッシャー (2箇所)を挟み、タッピングスクリュー (2箇所)で仮締めします。
- 図42のようにリアバンパー スポイラー の上部モール端末を型紙D、型紙E及びマスキング位置に合わせながら、両面テープの離型紙を番号順に剥がし、貼付け圧着する。
{ 49 N (5 k g f) 以上 }
(8 箇所)

△注意：必ずスポイラーを持ち上げ、型紙D、型紙F、図40のマスキングテープ位置に合わせながら圧着してください。隙の発生・圧着不十分・浮きは剥がれの原因となる事があります。

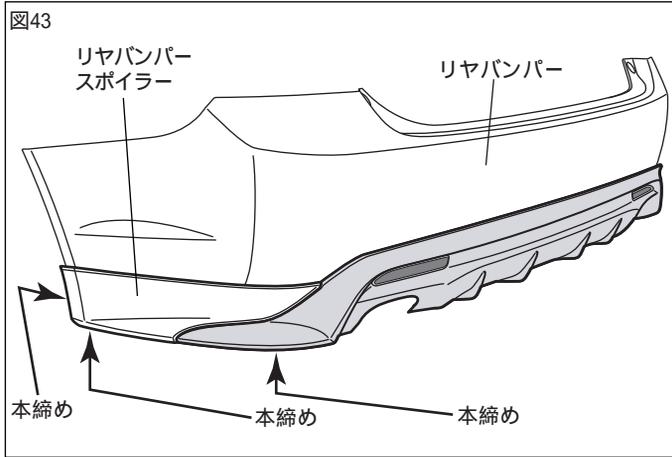
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び貼付け部をドライヤー等で40 程度に暖めてください。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



4. 図43のように仮締めしておいたリアバンパースポイラー 下面部のタッピングスクリュー (2箇所)、車両スクリュー(2箇所)を本締めする。

5. 図43のように仮締めしておいたリアバンパースポイラー ホイールアーチ部のタッピングスクリュー (2箇所)を本締めします。

アスリート3.5L・2.0Lターボのお客様は、別売りのマフラーガーニッシュ (MS313-30001)の取付・取扱要領書に沿って引き続き作業を行ってください。

取付完了後の点検・注意事項

1. リアバンパースポイラー、及びリアバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検します。
2. リアバンパースポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検します。
3. 各部にスキヤウキが無いこと、確実に圧着されていることを確認する。
4. アドバンストパッケージ装着車は、取付後に必ずインテリジェンスクリアランスソナーの簡易検査を実施してください。